



# 1年学年だより

発行日：令和3年4月30日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：遠藤 広樹 NO. 1

## 令和3年度を迎えて

校長代理 富樫 哲一

新年度が始まり、約1か月が経ちました。この4月は学校生活で何をするにしても、「新学年最初の～」ということになるため、心地よい緊張感やこれから始まる1年間に対する大きな期待を感じながら日々過ごしてきたのではないのでしょうか。特に1年生は「中学校生活最初の～」ということになるので、そうした緊張感や期待感をさらに強く感じたことでしょう。

改めまして、白田淳子校長代理の後任として着任いたしました富樫 哲一（とがし のりかず）です。前任校は横浜サイエンスフロンティア高等学校です。生徒の皆さんと同様に、何をするにも「着任後、最初の～」となり、これからの1年間のことを想像すると、校長代理として身が引き締まる思いと、大きな期待感でいっぱいです。どうぞよろしく願いいたします。

さて、最初の学年だよりでは、私が大切にしている言葉を皆さんに紹介したいと思います。

### 汝、何の為に其処に在り也 （なんじ なんのために そこに ありや）

これは、私の母校（高校）の元校長先生が、生徒たちへの講話の締め言葉として常々使っていたものだそうです。当時の先輩たちの心にあまりに強く響いたため、今でも生徒たちに代々引き継がれています。

意味は「今自分は何をするためにそこにいるのか」です。その元校長先生は、「いつ」「どんな時に」「どこで」「誰に」この言葉を問いかげられたとしても、即座に断言できるような自覚ある生活をしてほしいという願いを込めて生徒に伝えていたとのことでした。

私も高校生のときに「汝、何の為に其処に在り也」という言葉に出会ってから、日常生活において、ことあるごとにこの言葉を自己に問いかけながら生活をしてきたつもりです。

その結果として、

- ・周りに流されず、主体的に物事に取り組む。
- ・目的意識を明確にして行動する

ことが、完全ではないですが、自分では納得できるレベルではできてきたように感じています。

人に与えられた時間は限られています。中学校、高等学校を合わせても6年間しかありません。その与えられた時間を有効かつ有意義に使うためにも、南高等学校附属中学校の生徒の皆さんともこの言葉を共有できればともうれしく思います。

保護者の皆様、いよいよ新年度がスタートいたしました。コロナ禍ではありますが、生徒たちは気持ちを新たにしながら、ひるむことなくそれぞれの一步を力強く踏み出せたように思います。将来的に生徒全員が自己実現が可能となるように、教職員が心一つにして教育活動に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

## 各学級、教科の先生を紹介します！

中学校に入学して一か月が経とうとしています。改めてクラスや教科を担当して下さる先生方のお名前を紹介いたします。中学校は教科ごとに授業を担当する先生が変わり、各教科をより専門的に深く学ぶことができます。初めのうちは授業が行われる教室に移動するのも大変かも知れませんが、休み時間は次の授業の準備をする時間だと考えて、素早い行動を心がけましょう。

また附属中学校は、中高一貫教育校として、中学校だけでなく高校の先生方にも授業を担当していただいています。そして、教科学習だけでなく、EGGや委員会、部活動などでも、たくさんの先生方や職員の方々が、10期生の成長に関わってくださいます。(南高校および附属中学校には約100人の先生方・職員の方々がいらっしゃいます!) 校内で出会う中学校、高校すべての方に、みなさんから、元気に何度でもあいさつをしましょう。

※1 斜体字は高校の先生です。

※2 英語と数学は2クラスを3グループに分けて、少人数で学習します。

	1組	2組	3組	4組
担任	山口 智司	高仁 環	山形 拓也	西尾 彩
副担任	朝比奈 康江	神馬 和樹	小野寺 啓司	神馬 和樹
国語	石井 温子	朝比奈 康江	朝比奈 康江	朝比奈 康江
社会	山形 拓也	山形 拓也	山形 拓也	山形 拓也
数学	山口 智司 中山 優	山口 智司 中山 優	山口 智司 茂木 瑠香	山口 智司 茂木 瑠香
理科	高仁 環	高仁 環	高仁 環	高仁 環
音楽	小林 紗英	小林 紗英	小林 紗英	小林 紗英
美術	前田 純治	前田 純治	前田 純治	前田 純治
保健体育	小野寺 啓司 深谷きらら 服部 直人	小野寺 啓司 深谷きらら 服部 直人	小野寺 啓司 深谷きらら 西山 恵美子	小野寺 啓司 深谷きらら 西山 恵美子
技術	大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫	大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫	大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫	大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫
家庭	菊池 智美 島袋 十和子	菊池 智美 松島 律	菊池 智美 松島 律	松島 律 島袋 十和子
英語	西尾 彩 神馬 和樹 小川 裕堯 飯塚 恵子 ヘリー カシヨウ	西尾 彩 神馬 和樹 飯塚 恵子 ヘリー カシヨウ	西尾 彩 神馬 和樹 道家 真平 西村 小百合 ヘリー カシヨウ	西尾 彩 西村 小百合 ヘリー カシヨウ

### 【お知らせ】

別紙プリントでお知らせいたしましたとおり、5月17日(月) 教育課程説明会・部活動顧問紹介・部活動説明会を行います。当日は副教材の集金も同時に行いますので、よろしくお願いたします。

# PAA in 南高

4月14日(水)、プロジェクトあしがらアドベンチャー(PAA)が行われました。卒業式で毎年のように3年生の代表生徒が、「PAAがきっかけとなってクラスが仲良くなった」と振り返る活動です。

昨年に引き続き、新型コロナ感染防止のため本校アリーナでの実施となりました。当日はあいにくの天気、アリーナの床が結露し、滑りやすくなっていたため、床のぞうきんがけから始まりました。

活動がスタートすると、ファシリテーターの方々とともに、仲間と協力しなければ解決できない数々のアクティビティに挑戦していきました。

PAAの合言葉は『本気で、みんなで、安全に、話す、聴く』です。入学して一週間しか経っていなかったせいか、はじめは緊張して声もあまり出ていない様子でしたが、活動が進むにつれて、課題解決のため

のアイデアや意見も活発に出始めました。ビー玉運びでは、失敗しても声を掛け合って何度も挑戦し、最後にビー玉が缶に入ったときは、みんな飛び上がって喜んでいました。

気づきの言葉を書きためた「BEING(みんなの手形で縁取られた模造紙)」にも、「あきらめずに協力すれば、達成感が得られる」という言葉が書かれています。

南高附属中学校生活の大きな第一歩となりました。

## 1組

話したことがない人ばかりで、最初は少し不安だったけれど、今日一緒に活動したほとんどの人のことを知ることができました。課題に取り組んでいく中で、チームワークがとても良くなったと思います。

「ビー玉をスタートからゴールまで運ぶ」というゲームでは、自分から声をかけたり動いたりすることができました。成功したときには達成感があり、とても楽しかったです。誰か一人が失敗しても、責めずに励まし合い、みんな平等に関わっているところが1-1の良いところだと思いました。今日仲間と一緒に考えたり協力したりすることで、たくさん笑顔になることができました。

## 1組

ZOOMではストーリーも分からず挑戦したため、最初は無理だと思っていた。しかし、みんなのあきらめない姿を見て、自分もがんばるべきと感じ、最後まであきらめずに試行錯誤した。その結果、成功した。ぼくはとても嬉しかったし、仲間とともに一生懸命やってきてよかったと思う。

## 2組

やはり小学校と同じで、みんながそれぞれ違う考え方をもっていることが分かりました。司会のような進める人が必要だと思う人と、みんなが意見を出し合って進めた方がよいと考える人などです。だんだんクラスの人との接し方が分かってきました。みんなで協力して一つのことに向かって頑張ることのすべてが楽しかったです。最初は意味が分からなかった絵も、だんだん分かってくるまで、大変でしたがとても嬉しかったです。今日はクラスのことを理解し、仲良くなった日でした。

## 2組

ビー玉を転がすゲームでは、最初の方は「成功できればいいなあ」くらいの気持ちで取り組んでいたが、たくさんの失敗を積み重ねて、最後の方は「絶対に成功させてやる!」と強い気持ちでのぞむことができた。これは私だけでなくチーム全員だと思う。だからこそ成功できたのだと思った。



### 3組

最後に行った大縄がすごく楽しかった。クラス全員で跳ぶためにはタイミングを合わせないといけないから、掛け声をかけながらやった。そして跳べたときにはかなりの達成感を味わうことができた。今回のPAAで性別も関係なく交流することができた。遠慮がちだった私が、たくさんの人に伝えたり、聞いたりすることができたことがとてもうれしい。そして何よりみんなで何かをやり遂げることの楽しさを覚えることができるいい経験だった。

### 3組

小学校ではこんな体験はなかったので、とても貴重な経験になった。チームで協力したことで、改めて仲間の大切さを実感した。また、お互いのことを知り合えたので仲良くできる人が増えた。今回大切にしてほしいと言っていた五つのことを生かして今後の良いクラスづくりに繋げていきたい。

### 4組

たくさんの方の気持ちを聞くことができ、話せばすぐにみんなと打ち解けることができた。友だちから学ぶこともたくさんあると思うので、これからも積極的に関わりをもっていきたい。個性を尊重して仲間はずれのないクラスにしていきたい。そのためにはコロスケさんが言っていたように、どうしたらみんなが楽しいかという問いに本気で向き合うことが大切だと思う。

### 4組

フラフープくぐりではタイムが縮まなかったときに「もうこれが限界だからあきらめた方がいいのではないか」と思ったけれど、解決策を考えたことによって最高タイムを出せたため、粘り強く取り組むことの大切さを学びました。今度は自分が解決策を考え、みんなに伝えられる人になりたいと思いました。何度か失敗したけれど、そのときには失敗した理由を考えれば、かえって成功することができました。



#### 【保護者のみなさまへ】

先日学年集会で、携帯電話（スマートフォン）の使い方について話をしました。トラブルを防ぐためにも、使用する場所や時間、LINEなどの内容も含め、再度ご家庭でお子様と話をしていただけたいと思います。よろしくお願いいたします。